

新宮山彦ぐるーぷ第1877回
持経宿での熊野修験一行の接待と

前鬼小仲坊でボランティア活動

◇実施日：平成28年05月29日(日) 薄曇

◇参加者：沖崎吉信、生熊敏男、畑林秀味・清子、濱野兼吉、橋本梓、大江加予子、梶野照雄。 8名。

3月の大雲・小雲取越え、4月の本宮く玉置山に続き、第三回目の春峰行が、5月28日く29日に玉置山く行仙宿(泊)く前鬼間で行われた。

山彦ぐるーぷとしては、2日目に持経宿での接待が恒例となっており、右記の8人が対応した。

生熊・畑林(秀)の2人は、昨日の車回送(玉置神社↓前鬼)、行仙宿への荷上げ作業にも参加され、二日連続での出仕である。

玉岡相談役と川島世話人代表は、三井寺(園城寺)の天台寺門宗立宗一千百五十年慶讃法要並びに祝賀会に出席のため、不参加となった。

接待準備の都合上、今回の熊野修験参加者数の把握が必要である、三日前に青岸渡寺・高木亮英師から電話が入る。

① 今回私は用事があって参加出来ない。

② 息子の高木智英が、持経宿から同行する。林道ゲートの事もあって、池原で同行者・生熊行者と田中の2名・2台と合流の上、同行を頼む。

③ 参加者は、30名で持経宿で息子達以外の参加者もない。との事であった。例年50名を越える参加者はあるが、今回大分絞られた様だ。

当日5時30分、沖崎、畑林の2台に分乗し出発する。最近は、宮井大橋・大沼経由が定番となっている。早朝に出発した事もあって、ジャスト1時間の6時30分に池原スポーツ公園着。

高木智英氏らの3人は既に到着されていた。

畑林車は池原にデポし、智英氏を紹介のあと3台に分かれての出発であるが、5月14日持経宿巡回時、林道は相当荒れていて倒木もあった。帰路その処理も不完全のため気になっていた。

梶野君も参加の申出があり、10時迄に持経宿へ行くとの連絡があった。

スペアタイヤがないという田中君の車を含め3台が林道へ入った。直ぐに数日前に整備されたという気が付く。ゲート手前、ゲート奥のダートな道の路面がきれいだ。気になっていた途中の倒木も根元もから引きずり降ろした様で、林道脇に片付けられていた。お陰で何時もの様に約40分で持経宿に着いた。

千年桧お堂、不動堂のお供えや幟立、トイレ確認・紅茶作り等それぞれが分担し、準備完了した9時少し過ぎに梶野君も到着。

高木・生熊・田中の3氏は、千年桧で迎えると出立された。9時20分法螺の音が聞こえ熊野修験一行が到着され、直ぐに不動堂で勤行の後、休憩となる。



紅茶準備完了



持経宿に到着



不動堂で勤行



夏柑・西瓜の接待

昨日の行仙宿宿泊は、29名とのこと。

高松修験代表の松岡氏も参加されているので、持経宿改築の協力や昨秋の40周年祝賀会参加もあってご挨拶をする。

一通り見回すが、顔馴染みはない。又、近辺からの参加者は殆んどいない様である。内女性は4〜5名のみ。

皆さん暖かい紅茶と冷たいスイカにご満悦の様子。

参加者に持経改築に伴う寄付の御札を述べさせていただいた。

20分位の一服の後、前鬼へ向かって出立された。

出立後、室内外の整理や清掃、トイレ・倉庫も併せて行う。梶野君は、テーブルのアルミ足の調整作業など行う。

10時30分過ぎ、持経宿をあとにしたが、ここでも梶野車がパンク、14日に続き今月2回目。一度、車の御被いでも必要では・・・。

本来なら平治宿を巡回するが、前鬼へ向い昼食後、小仲坊お堂裏手の150年位は経っていると思われる杉の伐採大木の枝や落枝整理のボランテア作業を、行仙宿でお世話した方も加わり、15時半頃迄やらせていただき帰路についた。



前鬼へ持経宿出立

小仲坊でのボランテア作業者

尚、今回の熊野修験参加者の中に埼玉県から来られた長谷川さん(天台系仏師)という方から、行仙宿・行者堂内の役ノ行者像が腕も落ち、傷みもひどい状態だと指摘をされた。気になっていたが、いよいよなんとかせねば！

(記 沖崎、写真：梶野)